

アンケート調査ご協力をお願い

将来世代に負担を先送りすることなく、
より良い資産を次世代に引き継いでいくために
あなたのご意見をお聞かせください！

日頃より市政にご理解と協力をいただき、誠にありがとうございます。

本市では、今後、老朽化した公共施設の大量更新時期を迎え、大規模改修や建て替えに多額の費用が必要となることから、将来の人口減少や少子高齢化など社会情勢の変化に対応した持続可能な行財政運営を行っていくためにも、公共施設の将来のあるべき姿を検討し、公共施設の「量」と「質」を見直す取り組み（公共施設マネジメント）を推進しています。

そこで、市民の皆様の身近な公共施設について、ご意見をいただき、今後の長野市の「公共施設マネジメント」の参考にさせていただきたいと考え、アンケート調査を実施することといたしました。

本アンケート調査は、市内にお住まいの20歳以上の方のうち、無作為に抽出した方を対象に回答をお願いしております。

お忙しい中誠に恐縮ですが、本調査の目的をご理解いただき、アンケートにご協力くださいますようお願いいたします。

平成26年10月

長野市長 加藤 久雄

ご回答にあたっての注意事項

- 1 ご回答は、同封の調査票に宛名ご本人様をご記入ください。
- 2 本調査は無記名ですので、お名前を記入される必要はありません。
- 3 皆様からのご回答は、すべて統計的に処理し、本調査の目的以外に使用することはありません。
- 4 ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずにポストに投函してください。
- 5 ご回答の期限は、平成26年 月 日（ ）までです。

ご協力をお願いいたします。

このアンケート調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

お問い合わせ先：長野市総務部行政管理課 公共施設マネジメント推進室
電話（026）224-8402（直通）

この資料をご覧になって、同封のアンケートにお答えください。

～長野市の公共施設を取り巻く状況は次のようになっています～

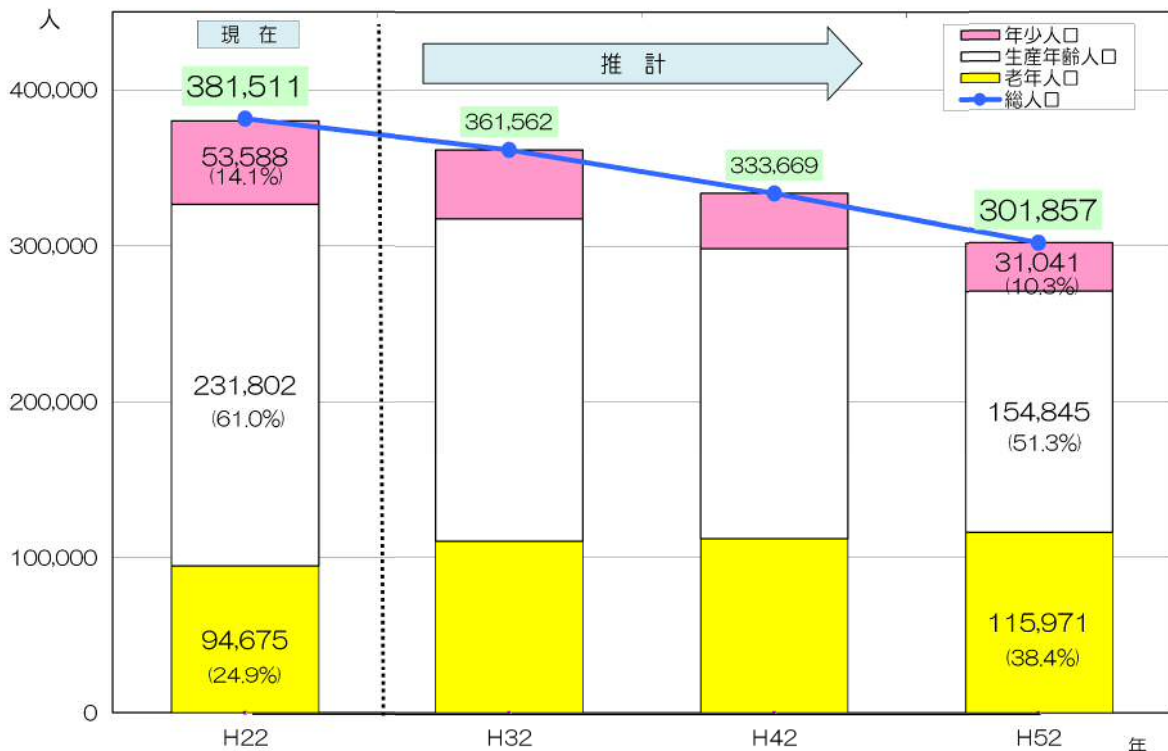
人口減少、少子高齢化など社会情勢の変化が進む中で・・・

- 本市は、昭和40年代から50年代の高度経済成長期にかけ、急激な人口の増加、市民生活の向上などに対応するため、小中学校や市営住宅など、多くの公共施設を整備してきました。
その後、冬季オリンピックの開催に伴い、大規模な競技施設の建設や、平成の町村合併などにより、公共施設は、さらに増加しました。
- 今後、これらの施設の大量更新時期を迎え、大規模改修や建替えに多額の費用が必要となることから、将来にわたり、すべての公共施設を維持していくには、財政負担の面で大きな課題があると言えます。

公共施設白書
によると・・・

1. 将来の長野市の人口推計

- *平成52年の人口は、約30.2万人（平成22年と比べると、約8万人減少）
- *65歳以上の老年人口は増加し、高齢化率は、約25%から約38%に上昇する見込みです。



2. 市有施設の分類別延床面積の割合（H25.4.1現在）

*市有施設は、建物と道路・橋りょうなどのインフラに区分されます。

*建物の延床面積の合計は、約154万㎡となっています。その内、小中学校を含む学校教育施設が全体の約35.5%を占めています。

| 区分 | 施設分類 | 延床面積 | 割合 | 主な施設 |
|--------------------------|-----------|------------------------------|-------|---------------|
| 建物 延床面積合計 (約154万㎡) | 学校教育施設 | 約55万㎡ | 35.5% | 小中学校、給食センターなど |
| | 市営住宅等 | 約23万㎡ | 15.0% | 市営住宅など |
| | 行政施設 | 約16万㎡ | 10.3% | 本庁舎、支所、消防署など |
| | 生涯学習・文化施設 | 約14万㎡ | 9.1% | 公民館、文化ホールなど |
| | 観光レジャー施設 | 約13万㎡ | 8.3% | 温泉保養・宿泊施設など |
| | 体育施設 | 約12万㎡ | 7.8% | 総合運動場、体育館など |
| | 保健福祉施設 | 約10万㎡ | 6.5% | 保育所、児童館など |
| | 医療施設 | 約4万㎡ | 2.5% | 市民病院、診療所 |
| | 産業振興施設 | 約2万㎡ | 1.3% | 特産物販売施設など |
| | その他施設 | 約6万㎡ | 3.7% | 駐車場、上下水道施設など |
| インフラ | 道路（市道） | 総延長 4,412km 総面積 約2,107万㎡ | | |
| | 橋りょう | 橋りょう数 1,899橋（うち橋長15m以上 248橋） | | |
| | 上下水道（管路） | 管路総延長（上水道1,839km・下水道2,454km） | | |

※オリンピック施設（6施設）は、それぞれの施設分類に区分されています。オリンピック施設の合計延床面積約15万㎡は、建物全体の延床面積合計の約1割を占めています。

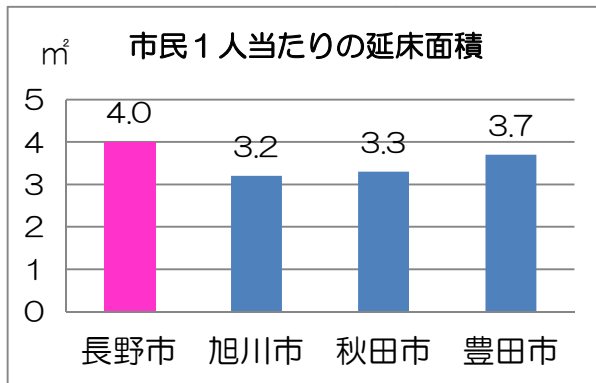
3. 建築整備年別の延床面積

*現在、老朽化した建物は、全体の約4割ですが、今後も増加していきます。



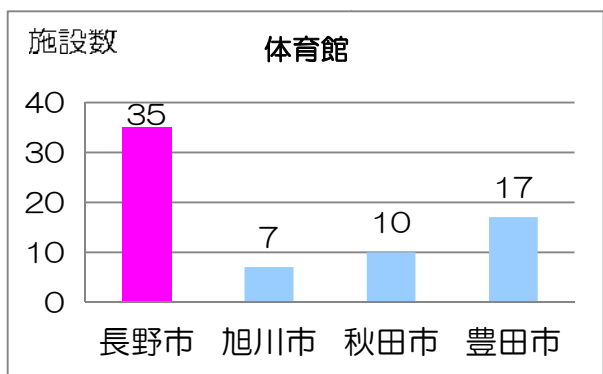
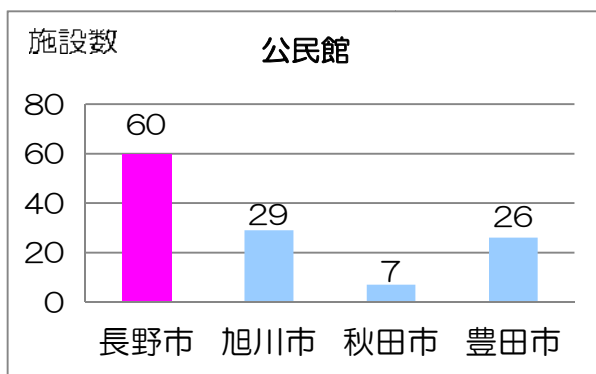
4. 類似都市との比較

* 公共施設の保有数などを、人口・面積が類似している、中核市3市と比較すると、本市の市民1人当たりの延床面積は、約4.0㎡/人となり、他市と比べて多くなっています。



| 【参考】 | 人口 | 面積 |
|------|-------|----------------------|
| 長野市 | 約38万人 | 834.8km ² |
| 旭川市 | 約35万人 | 747.6km ² |
| 秋田市 | 約32万人 | 905.6km ² |
| 豊田市 | 約40万人 | 918.4km ² |

* 特に、公民館や体育館の施設数は、他市と比べ多い状況にあります。



5. 将来の改修・建替え費用の推計（インフラを除く）

* 今ある施設をそのまま維持すると仮定し、今後40年間で必要となる改修・建替え費用を試算すると、約5,858億円の費用が見込まれます。

| | | |
|---|---------|--|
| 40年間の改修・建替え費用総額 5,858億円 ※ 1年あたりの費用 146.5億円 3カ年の合計費用 439.5億円 | ← 1.76倍 | 公共施設の改修や建替え経費の直近5カ年の平均 ※ 1年あたり 83.1億円 3カ年あたり 249.3億円 |
|---|---------|--|

